



「阿弥陀仏信仰の源流をたずねて」

善光寺の御本尊をはじめ、日本人に最も親しまれてきた仏の一つが阿弥陀仏です。極楽浄土に迎えてくれる救いの仏として、法然や親鸞らの浄土教を通して広く信仰を集めてきました。しかし、この阿弥陀仏信仰はどこから生まれたのでしょうか。その源流をたどると、インドで成立した大乘仏教、さらには中央アジアや西方世界との文化的交流も関係がありそうです。

この講演では、『阿弥陀経』などの浄土経典を手がかりに、阿弥陀仏という仏がどのように誕生し、なぜ多くの人々の心を捉えてきたのかを考えます。

放送大学客員教授
信州大学教授

護山真也



9月19日(土) 13:30 ~ 15:30

会場：長野学習センター学習室

定員：30名 〔聴講無料〕

聴講ご希望の方は下記へお申し込みください

放送大学

〒392-0004

長野学習センター

諏訪市諏訪1-6-1 アーク諏訪3階 (休日:月曜・祝日)

TEL : 0266-58-2332

FAX : 0266-57-1135

申込先